

Rêve(レーヴ)はフランス語で【夢】という意味です。
「お客様の夢を実現させたい」との思いでネーミングしました。
お客様と白川建設の様々な情報発信をさせていただきます。

Rêve

PREMIUM

2015.01.03

今年“夢”叶えませんか？

Dream house

家にはたくさんの想いが詰まっています。
施主様の想い
それを支える人の想い
職人の想い
その想いを共有・共感し実現することにより家は
「夢」へと姿を変えるのです。
白川建設は「夢」を大切に考え、
家族の笑顔を大切に考える
匠（大工）の家造りです。



建築・企画・設計・施工

有限会社

白川建設

<http://s-architecture.co.jp/>



DINING リビングは一日を始める場所。元気が出るよう、ビタミンカラーの珪藻土を塗った。大胆な梁に合わせ、チョイスしたのは白樺で作ったフィンランド製の照明。食器棚は機能性を考え、既製品を埋め込んだ。



LIVING ダイニングとは別に、開放的なリビングを用意。「多灯使い」が好きだというJ夫人のこだわりで、間接照明や、スタンドランプを多用。夜はまた違った趣を楽しむことができる。



洗面所のテーマは「新緑」。市松模様のタイルがアクセント。奥にはドライルームも完備。



EXTERIOR わざと家の中を連想できないよう作ったという外観。セラミックタイル貼りで、洋テイスト。グリーン好きのJ夫人は、ここで土いじりをするのが日課なんだとか。



GUEST ROOM 県外からの来客が多いJ家。宿泊スペースとしても使えるゲストルーム。将来、介護が必要になったときのために介護用の洗面も付けている。



BED ROOM ティファニーブルーで統一された寝室のイメージは、「ホテル」。洗面所やトイレも同室内に配し、ベッドの高さにもこだわった。窓にかかるカーテンは、家を建てる前から持っていたもの、これに合わせて窓をとった。



2階の小窓をあけると、ライトアップされた神棚と目が合う。



玄関近くに設置した独立手洗いは、来客時に便利。



ENTRANCE 玄関は「木立」をイメージし、木を格子状にデザイン。



「元々生えていた向きで建てるのがよい」という白川建設のアドバイスで、曲がった木をそのまま階段の手すりにつかった。天井からも、匠の技を感じる。

夢を叶えた家



森や太陽…自然を感じ心豊かになる、木の家



東日本大震災をきっかけに、愛媛へUターンし家を建てることとなったJ夫妻。「木と暮らす家」を思い描いていたふたりは、「木に対する熱い気持ち」を感じ、施工会社を白川建設に決めた。木を知り尽くした白川建設と、仕事柄スタイリングに詳しいJ夫人。お互いの知識を伝えながら、ディスカッションを重ね、丁寧に時間をかけて空間を作り上げた。「一人の木工さんがずっと携わり、家づくりのプロセスを一緒に楽しめたのがよかった。だんだん“あ・うん”の呼吸になり、思い描いたことがどんどん現実になっていきました」お互いのこだわりが解け合って、居るだけで心が豊かになりそうな、自然を感じる家が完成した。

夢へのこだわり
最高仕様が
標準仕様



白川建設が施工する
全棟で5つの独自工法を
標準仕様として採用しています

① EH2工法(高断熱工法 + 耐力壁工法) エアコン一台で家中冷暖房

弊社開発のEH2工法(高断熱工法+耐力壁工法)は、省エネ対策等級4の性能を有する工法であることが認定されています。等級4とは、国が定める温暖化抑制基準の最高ランクであり、弊社のような小企業が独自

工法で認定されるのは全国的にも極めて稀な例です。国土交通省は2020年までにすべての新築建物に省エネルギー基準への適合を義務付ける方針を正式に決定しました。弊社では1990年後半には高断熱住宅の開発を開始し、標準工法として、既にその条件を満たした家を提供してきました。EH2工法は、その断熱性能の高さから、エアコン一台で家中の冷暖房を可能にするため、冷暖房機器の台数を削減することができ、光熱費の削減、冷暖房機器の購入費を大幅に抑えることができます。



耐力壁工法のしくみ



針葉樹構造用合板
厚さ9mmの構造用合板で、「壁倍率2.9倍」という優れた数値を実現しています。

断熱材 ネオマフォーム(30mm)
最高レベルの断熱性能、熱伝導率(λ)は0.020w/k。気泡構造は100ミクロン以下と極微細。断熱性能の高さはこの気泡の細かさが実現しています。



LDK 杉の丸太をそのまま使った吹き抜け天井は大迫力。杉板をふんだんに使った壁も両サイドに窓を設けることで明るさをキープ。

廊下

収納は、渡り廊下のように中庭を望む廊下部分に設置。浮造りの床板と格子戸が中庭にマッチしている。



リビング～和室

リビングの一角には和室もあり、扉を閉めることで来客時には客間としても使用できる。



寝室

明るさは保ちながら睡眠を妨げる光が直接入らないよう計算し、軒の先まで壁を伸ばし窓を設置している。



玄関

座って靴が履けるようベンチを設置。立ち上がる時につかまれるよう、柱には手すりを付けてもらい安全性にも配慮。



外観

外壁はどうしても焼杉板の黒にしたかったというNさん。念願叶って和風ななかにもモダンさのある外観に仕上がった。



中庭

明かり採りにも最初から願っていた中庭は、前の家で使っていた石などを配置。同じものでもまったく違う雰囲気に仕上がった。



洗面

以前使っていた三面鏡の鏡を洗面所の鏡にリサイクル。こうした気遣いが白川建設を選んでよかった点という。

夢を叶えた家

Case 2

和の心地よさを盛り込んだ
明るくモダンな杉の木の家

建て替えが決まった際、木の家にこだわり施工会社を何社も回ったというNさん。広島や南予まで話を聞きに行ったが、納得できる施工会社には出会えなかったという。そんな折、前から気になっていた地元の白川建設を訪ね話を聞いた所、木に対する深い知識と技術、そして何より温かい人柄に「希望の家を建ててくれるのはここだ」と直感。当初、心配していた予算面も思っていたほどではなく、他社と変わらない価格だったことも決め手となった。実際、建設にあたり、本当に細かいところまで気を使って建ててくれ、希望通りの家に仕上がったという。「外観、内観はイメージ通り。住み心地は満点です」と笑うNさん。憧れの杉の家が完成した。

② 更なる強度を実現
木摺り工法

日本でも古くからある工法で、家中の壁の下地にバラ板(桧)を貼る工法です。面構造で地震の揺れにも対応。板と板の間に隙間があることで、揺れを吸収して逃します。耐力数値も0.5付加されます。



③ ダクト式熱交換システム
PM2.5をガード！
より快適な室内環境を目指して

弊社ではダクト式熱交換システムを採用しています。給気・排気ともに機械的に換気を行うシステムのことです。給気フィルターユニットがPM2.5等外気汚染物質の侵入を防ぎ、室温に近づけて導入するため、安全な空気環境と、快適な温度を保つことができます。EH2工法の完成度を更に高める熱交換換気システムです。

④ エアコンの仕事を減らす窓
樹脂サッシ

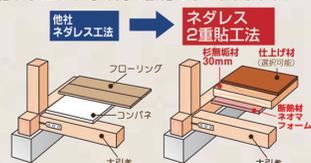
夏、室内へ流れ込む熱の約7割は窓から入ってきます。また、冬に暖房で暖められた熱の約半分は窓から失われます。「部屋の居心地は窓の断熱化で変わる」という理由がここにあります。弊社の採用している樹脂サッシは、国内最高基準の断熱性を誇り、高い省エネ効果を発揮しています。



- ① 遮熱断熱Low-Eガラス(アルゴンガス入り)
通常のペアガラスの中間層(空気層)の中には乾燥空気が入っていますが、遮熱断熱Low-Eガラスに入っているアルゴンガスは、乾燥空気と比べ1.5倍も熱を伝えにくく、断熱性能が高められます。
- ② 樹脂だから結露の発生を軽減します
樹脂の熱の伝わりは、アルミの約1,000分の1。室内外の温度差で生じる結露を大幅に軽減します。

⑤ 30mmの杉無垢材仕様の
ネダレス2重貼工法

床の下地材に杉無垢材30mmを使用し、更に仕上げ材(選択可能杉・桜・檜などの無垢材。またはフローリング)を貼る2重構造です。杉は日本の風土・気候にも適した素材で、特に調湿性、断熱性に優れています。またしっかりとした厚みの杉材を床に敷き詰めることで、水平力の強化にもつながります。



ギャラリー・オフィス「夢」

夢を叶える場所としてお客さまとお話し、木の温もりを感じていただき、一緒に夢を語りあう場所です。ここから多くの夢が叶えられています。



白川建設は木を知っています。 歴史ある日本建築に学ぶ。

創業時白川建設は材木店でした。なにより木が好きで、木を知っています。構造材として、木が備える強さや性能を最大限に引き出すため、材木屋で培ったノウハウと歴史、経験に裏付けされた匠（大工）の細やかな仕事こそが、お客様にとって最高の住空間を提供できると考えています。

しかし現在の木造軸組工法で施工される住宅の多くは、木材をプレカット工場のカッティングするという

のが主流となり、匠（大工）が木材を手刻みで加工する手づくりのものが激減してしまいました。

そもそも木造軸組工法とは柱・桁・梁・筋交い等の基礎の組み合わせによって躯体を構成する工法です。どんな品質の木材を、どのくらいの大きさで、どういう継手で、どう組むかということが重要です。

白川建設では、品質の良い無垢材だけを社長自らが仕入れています。そして匠（大工）が木材の特

製を見極め、柱、桁、梁と目的に応じて使い分け、適切な木材を選定します。豊富な経験や知識に裏打ちされた高度な職人技術によって、より強い躯体が出来上がるのです。

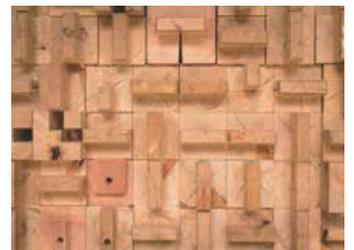
白川建設の建てる家は全て職人の手刻みによる家です。山から切りだされた木は生きているから個性があり、生育環境によってさまざまに変形します。それを熟知しているからこそ、一本一本、木の特製を見極め、

丁寧に加工していく、匠（大工）の手刻みにこだわります。家の機械生産が進んで行く中で、（私どもは）惜しみなく手間をかけ、何年も受け継がれる家づくりを基本としています。人の手による物づくりがなくなることはありません。かえってその価値は高まると考えています。

白川建設はこれからも匠（大工）の手刻みの家づくりにこだわります。



TUNEFUMI
SHIRAKAWA
代表 白川 恒文



建築・企画・設計・施工

白川建設

事務所・ギャラリー 新居浜市御蔵町3番29号 TEL (0897) 41-1324
工場 新居浜市上原3丁目6番32号 TEL (0897) 41-1324
建設業登録愛媛県知事(般-24)第12894号 宅地建物業登録愛媛県知事(5)第4106号